

## 財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会

[法人の概要]

平成22年7月1日現在

代表者名	理事長 薄井 征記(非常勤)	県所管部課	農林水産部漁政課	
所在地	土浦市小松1-21-9	電話番号	029-821-6388	
ホームページURL		E-mailアドレス	<a href="mailto:ksgyoren@beach.ocn.ne.jp">ksgyoren@beach.ocn.ne.jp</a>	
資本金(基本財産)	14,500	千円	設立年月日	昭和55年7月24日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	霞ヶ浦漁業協同組合連合会	11,000	75.9%
	2	茨城県	3,500	24.1%
	3			
	4			
	5			
その他				
設立的	国営高浜入干拓予定水面のため、漁業環境が荒廃化していた霞ヶ浦の漁業環境改善と、漁業生産力の増強を図り、漁業及び漁協経営の体質強化、地位向上に寄与することを目的とし、県及び地元漁協の連合体である霞ヶ浦漁業協同組合連合会が共同して設立。			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	内 容	
事業1	助成事業 1. 漁業近代化施設整備 2. 漁村振興対策 3. 漁協育成強化対策	1,222	658	30,220	1.ホイスト・漁船巻き上げ機等の設備の充実強化 2.船溜まりの清掃・フェンス設置等の環境整備、淡水魚消費拡大イベントへの参加、新商品の試食・配布 3.漁協役員に対する講習・研修の実施、最新事務機器の導入による事務の近代化
	全体事業に占める割合	8.9%	3.0%	47.6%	
事業2	委託事業 1. 漁業環境回復対策 2. 漁業資源維持培養対策 3. 漁業秩序維持対策	10,119	18,750	30,990	1.霞ヶ浦全域の漁場清掃による漁場環境の回復 2.主要魚種(わかさぎ・うなぎ等)の放流による漁業資源の維持培養及び外来魚等の駆除による生態系保全 3.違反操業の未然防止や漁業秩序維持の確立(H21未実施)
	全体事業に占める割合	73.4%	85.8%	48.8%	
事業3					
	全体事業に占める割合	0.0%	0.0%	0.0%	
その他事業	事業1~3以外	2,436	2,443	2,329	指定管理者
	全体事業に占める割合	17.7%	11.2%	3.7%	
全体事業		13,777	21,851	63,539	指定管理者
	全体割合	100.0%	100.0%	100.0%	

&lt; 財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会 から県民のみなさまへ &gt;

霞ヶ浦の漁業については、依然として漁獲量が低迷し漁業経営も非常に厳しい状況が続いています。このような中、当協会は漁場清掃やワカサギなど重要魚種の放流等の事業に積極的に取り組み、一部で資源回復の動きも出てきました。

なお、当協会は公益法人制度改革の移行期限までに解散する予定ですが、それまで基金を有効に活用して霞ヶ浦の環境改善と漁業生産力の向上を図り、漁協及び漁業者の地位向上に努めます。

平成23年2月 理事長 薄井 征記

[経営状況] 財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会 (単位:千円)

区分		平成19年度	平成20年度	平成21年度	増減数	増減理由
正味財産増減計算書	一般正味財産増加額	61	297	383	86	
	経常収益	0	0	0	0	
	基本財産運用益	0	0	0	0	
	事業収益	0	0	0	0	
	受取補助金等	0	0	0	0	
	その他収益	0	0	0	0	
	経常外収益	61	297	383	86	
	一般正味財産減少額	13,777	21,851	63,539	41,688	漁協育成強化対策等の拡大
	経常費用	13,777	21,851	63,539	41,688	〃
	事業費	11,341	19,408	61,210	41,802	〃
	管理費	2,436	2,443	2,329	△ 114	
	うち役員人件費	330	330	330	0	
	うち職員人件費	0	0	0	0	
	経常外費用	0	0	0	0	
	一般正味財産増減額	△ 13,716	△ 21,554	△ 63,156	△ 41,602	
指定正味財産増加額	0	0	0	0		
指定正味財産減少額	0	0	0	0		
指定正味財産増減額	0	0	0	0		
正味財産期末残高	245,575	224,021	160,865	△ 63,156	基金を取り崩している(収益なし)	
貸借対照表	資産合計	245,575	224,021	160,865	△ 63,156	〃
	流動資産	231,075	209,521	146,365	△ 63,156	〃
	固定資産	14,500	14,500	14,500	0	
	負債合計	0	0	0	0	
	流動負債	0	0	0	0	
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	0	0	0	0	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	正味財産合計	245,575	224,021	160,865	△ 63,156	基金を取り崩している(収益なし)
	基本財産充当額	14,500	14,500	14,500	0	
県財政関与状況	補助金	0	0	0	0	
	委託料	0	0	0	0	
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	
	財政的関与の割合(%)	0.00%	0.00%	0.00%	0.0	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
借入金残高(期末)	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式	平成19年度	平成20年度	平成21年度	増減P	備考
収益事業比率	収益事業費/当期支出合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	
管理費比率	管理費/当期支出合計	17.7%	4.7%	2.8%	△ 1.9	
人件費比率	人件費/事業活動支出	2.4%	1.5%	0.5%	△ 1.0	
自己収入比率	自己収入/事業活動収入	100.0%	100.0%	100.0%	0.0	
流動比率	流動資産/流動負債	100.0%	100.0%	100.0%	0.0	
借入金比率	借入金残高/負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

7月1日現在の人数		平成20年			平成21年			平成22年			増減数	増減理由
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB			
役員	常勤理事・監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	非常勤理事・監事	9	1	0	9	1	0	9	1	0	0	
	計	9	1	0	9	1	0	9	1	0	0	
職員	管理職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	嘱託・臨時職員等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期常勤職員の年齢構成		~20代	30代	40代	50代~	合計	平均年齢		プロパー職員平均勤続年数			
		0	0	0	0	0	0.0	歳	0.0 年			
									プロパー職員平均給与(年額)			
									0.0 千円			

[評点集計]

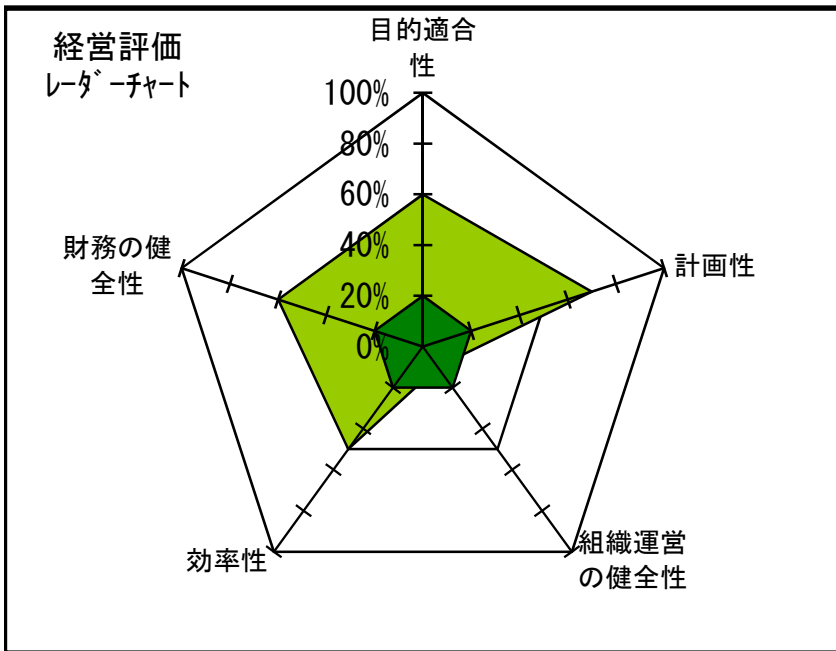
評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	11	12	20	60.0%
計画性	8	14	20	70.0%
組織運営健全性	9	2	20	10.0%
効率性	11	10	20	50.0%
財務健全性	10	12	20	60.0%
合計	49	50	100	50.0%

公益法人会計用

財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会

警戒指標

--



《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか

[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
<p>国営高浜入干拓事業収束に伴い、立ち遅れている霞ヶ浦の漁場回復と漁業生産力の増強を図るため、各種事業を実施し、または支援している。</p>	<p>当協会の目的を達成するため、中長期計画を定め、漁業資源維持や漁場環境回復などの事業を計画的に実施している。また、地元漁業者のニーズに的確且つ迅速に対応するため、中長期計画の見直しは適宜行っている。</p>	<p>当協会は職員を置かず、事務を霞ヶ浦漁連に委託している。また、理事の業務執行を評価するため評議員会を設置し、適正な運営の確保に努めている。</p>	<p>役員定数や事務委託費を削減するなど、効率的な経営に努めている。また、基金の有効活用を図るため、一昨年度から国債を購入し運用している。</p>	<p>当協会は営利事業を一切行わないため、事業により損失が生じることはない。また、借入などもないため、財務上の問題はない。今後も基金を有効に活用し、漁業振興のために役立てる。</p>
<p>今後の事業展開の方向</p>	<p>霞ヶ浦の主要魚種は年々漁獲が減少し、それに伴い漁業経営も非常に厳しい状況が続いている。当協会においては、霞ヶ浦漁業生産力の増強、漁業経営の安定を図るため、資源維持培養対策、漁場環境回復対策事業などを中心に事業全体の拡大を進めていく。</p> <p>また、公益法人制度改革に伴い、当協会は移行期限までに解散すると決定したことから、基金を有効に活用しつつ解散に向けた作業を行うものとする。</p>			

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
設立の趣旨に合致し、地元ニーズの高い事業を実施していると認められる。	有用魚種の資源増大のための事業の実施など、中長期計画に従い事業を行っており、計画的に実施に努めていると認められる。	理事会の牽制機関として評議員会を設置し、運営の計画性、効率性などを確保している。	事務委託費の削減などに努めており、今後も改革工程表に沿って経費削減を図っていく必要がある。	当法人は、基金を取り崩し事業を実施しているため毎年度赤字決算となるが、借入金などはない。また、一昨年度から国債を購入・運用するなど財務健全性に問題はないと認められる。
<p>法人担当課の意見</p> <p>霞ヶ浦の漁業生産力の増強、ひいては漁業経営の安定化を図るうえで、当法人は大きな役割を果たしてきた。特に最近事業を拡大してきたうなぎ放流、外来魚駆除などは地元ニーズに合致し、漁業者からも好評を得ている。</p> <p>しかしながら、当法人は公益法人制度改革の移行期限までに解散すると決定したことから、県としては今後も法人の目的に沿った事業運営に努めさせるとともに、円滑に解散できるよう指導していく。</p>				

[経営目標]

区分	指 標 名	単位	H19実績	H20実績	H21 目標値	H21実績	達成度 (%)	H22目標値
事業成果	1 助成事業	千円	1,222	658	3,300	30,220	100.0%	9,200
	2 委託事業	千円	10,119	18,750	23,620	30,990	100.0%	37,700
健全性	1 自己資本比率	率	100	100	100	100	100.0%	100
	2							
効率性	1 総事業費に占める管理費割合の削減	率	18	11	8	4	46.5%	5
	2							
平均目標達成度							86.6%	

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	概ね良好	改善の余地あり	改善措置が必要	緊急の改善措置が必要	
総合的所見等	<p>法人解散に向けたスケジュールの中で、公益目的に適した事業を適正なコストで実施されたい。</p> <p>また、円滑な解散手続きの実施に向けて環境整備を図られたい。</p> <p>なお、県関与については、解散前に出捐金相当額の県への寄附を検討されたい。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>法人解散にあたり、円滑に手続きを進めるとともに、解散に向けた事業計画に基づき効果的・効率的な事業の実施を図るよう指導する。</p> <p>また、県の出捐金相当額の県への寄附による県関与の見直しについては、法人側と速やかに検討していく。</p>				